

岡部町

地形概況

朝比奈川・岡部川流域の志太山地、東部に高草山地がある。下流の谷底低地は自然堤防と後背湿地からなる。朝比奈川中流の曲流部には段丘が発達し、山麓緩斜面に移行する。河川ぞいは丘陵性山地で低地の幅も広い。青羽根は地すべり地である。

地質概況

山地は瀬戸川層群からなり、砂岩を主とする地域。頁岩と砂岩の互層の地域など、断層により分断されるが帯状に分布する。南部は大井川層群の砂岩や泥岩の山地、高草山一帯はアルカリ粗面岩からなる。輝緑岩や蛇紋岩の貫入もみられる。

気象概況

年平均気温は推定 14.5℃、年平均降水量が 2,326mm(新舟)。日の当たる率は県内平均より低い。冬季は温暖で穏やかな晴天の日が続く。降雨量は県内の平均で、特に春から夏季(4月～8月)にかけて全降水量の約 50%の雨が降る。

災害事例 地震

- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4
全県下で被害を生じた大地震。岡部宿は東方中程まで半潰、上の方残らず焼失した。丸子は七分通り潰れ、本郷では壁に割目、庇が落ちた程度であった。岡部宿では大地さけ、水を噴き出した所があった。震度は岡部宿で6、本郷で5であった。
- 1707年10月28日(宝永4年)宝永地震 M=8.4
全県下で被害を生じた大地震。岡部町では潰家16戸、半潰家91戸、大破家21戸を生じたが、人馬とも被害はなかった。震度は6であった。

災害事例 台風

- 1982年9月12日(昭和57年)台風18号
全県下で風水害を受けた。当地では死者1人、負傷者1人、床上浸水100戸、床下浸水420戸の被害があった。
- 1960年8月13日(昭和35年)台風12号
県中・西部で被害が大きかった。岡部町朝比奈で13日17時から24時の間、1時間50mm以上の豪雨がつづき、1時間最大雨量142mmを観測した。山間部の集落(青羽根・玉取・牛倉沢・山中沢・蓮の窪)は濁流に洗われた。被害は全壊2戸、流失1戸、床上浸水149戸、床下浸水91戸である。
- 1954年9月18日(昭和29年)
全県下特に中・西部で被害甚大であった。岡部町朝比奈では死者12人、全壊10戸、半壊1戸、流失5戸、床上浸水20戸、床下浸水150戸の被害があった。